



## オーストラリア債券投資のヒント

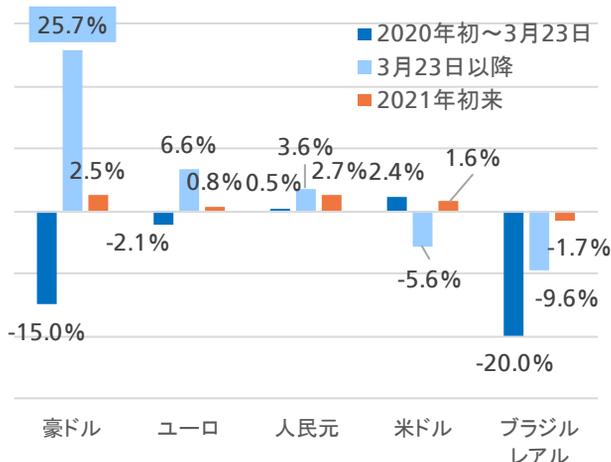
～環境改善から豪ドルは上昇傾向～

- 新型コロナウイルスの感染抑制成功、迅速な景気支援策、資源価格上昇などから豪ドルは大きく反発
- 経済の落ち込みが相対的に小さかったオーストラリアでは、景気は早期に回復する見込み
- 2021年は、早期の景気回復、輸出の増加といった環境が整いつつあり、豪ドルの上昇傾向は続く見通し

### POINT 1 2020年3月以降、豪ドルは大きく反発

- 2020年初来の為替(対円)の動きを振り返ると、豪ドルは2020年3月までの下落局面から大きく反発していることがわかります。
- 山火事のような災害や、新型コロナウイルスにも見舞われたにもかかわらず、オーストラリア政府や中央銀行による迅速な対応が奏功し、オーストラリアの経済の落ち込みは相対的に小さく抑えられています。
- 政府は事業、雇用そして収入を守るために、前例のない規模で大型の景気刺激策を実施、中央銀行は迅速かつ大規模な金融刺激策を行ったことなどから、投資家心理の落ち込みを防ぐことになりました。
- こうしたことから、豪ドルにおいては2020年2月～3月半ばまでは弱気一色であったにもかかわらず、3月後半以降は、他の通貨を上回る上昇となっています。
- 外部環境の好転も、豪ドルにとってプラスに影響しました。世界各国での景気刺激策を受けて資源需要が急拡大し、資源価格が上昇しました。特にオーストラリアの主要な輸出資源である鉄鉱石の価格は、コロナ禍からの回復が顕著な中国経済を背景に上昇基調が続いています。
- 世界経済と資源価格の回復を受けて、オーストラリアの貿易黒字は拡大基調が続いており、経常黒字も更なる改善が見込まれています。また、財政の健全性なども豪ドルのサポート材料となっています。

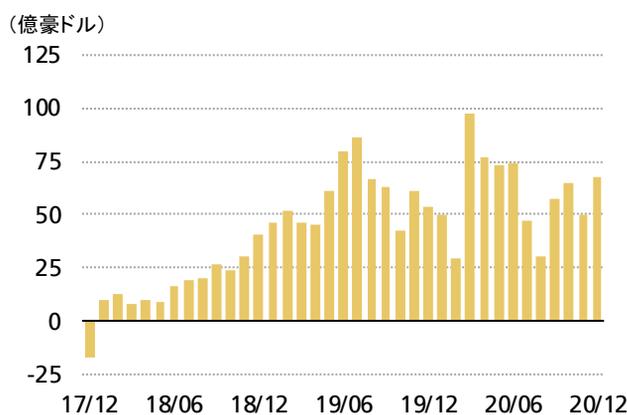
■ 為替(対円)の騰落率(2019年12月末日～2021年2月12日)



■ 鉄鉱石価格の推移(2018年12月末～2021年1月末)



■ 豪州の貿易収支の推移(2017年12月末～2020年12月末)

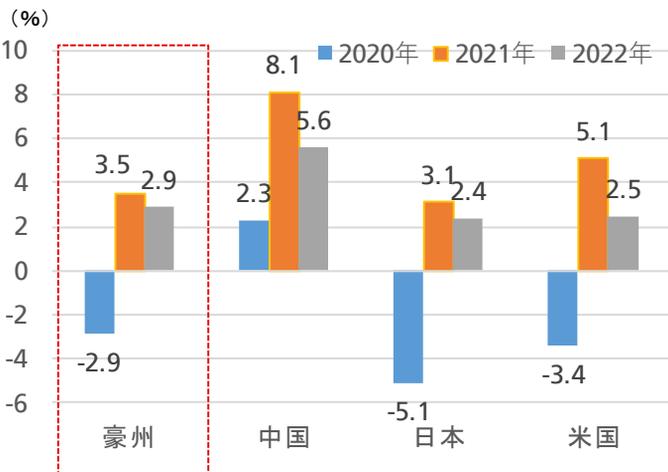


(年/月)

## POINT 2 オーストラリア経済は早期に回復する見込み

- 適切なロックダウン、政府による家計や企業に対する迅速な財政サポートにより、オーストラリアの2020年7-9月期のGDPはプラス成長を実現しました。コロナ禍に見舞われた2020年前半の景気後退からの復活を実現しています。
- IMFによるGDP予想では、主要先進国の中で2020年のマイナス幅は相対的に小さく、2021年には3%を超える成長が見込まれています。
- 今後のコロナ対策として、モリソン首相は10月までに全国民のワクチン接種を完了する計画を発表しました。接種促進に19億豪ドル(約1,516億円)を拠出し、今後も追加支出を行う見通しです。
- 国内の新型コロナウイルスの新規感染者は概ね一桁に抑えられていますが、コロナ対策は引き続き厳格です。変異株のクラスター(感染者集団)の発生を理由に、ビクトリア州では2月12~17日まで5日間のロックダウン(都市封鎖)を実施しました。

■各国のGDP成長率(予想値、2020年~2022年)

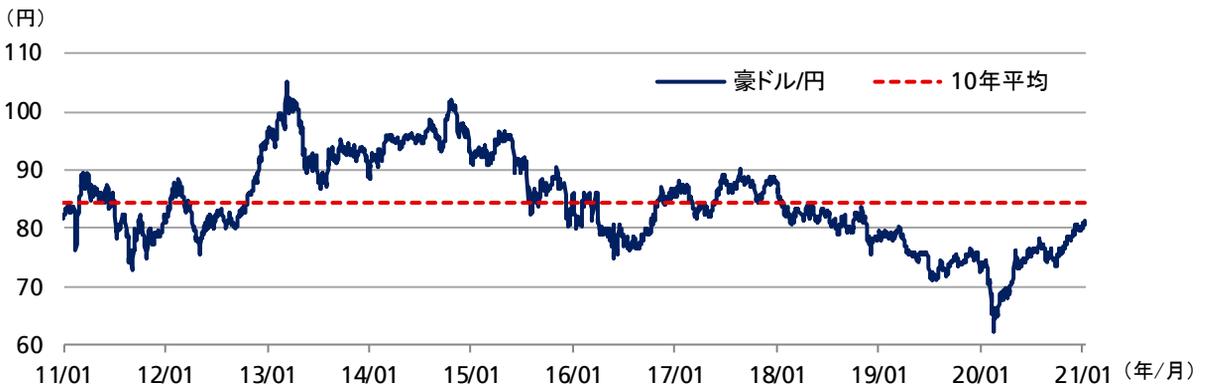


出所: IMF (World Economic Outlook 2021年1月改定値)

## POINT 3 2021年も豪ドルの上昇基調は継続へ

- こうした環境を受け豪ドルは上昇基調にあります。足元では過去10年の平均を下回る水準にあります。ワクチン接種の拡大に伴う新規感染者数の落ち着き、経済活動の再開や好調な輸出など、豪ドルを支える環境は整い始めた段階とも考えられます。引き続き豪ドルや関連する投資の魅力は継続する可能性が高いと考えられます。

■豪ドル(対円)の推移 (2011年1月末~2021年2月12日)



出所: リフィニティブ 上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆あるいは保証するものではありません。

UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

＜ご留意事項＞投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましてはUBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。＜投資信託のリスクについて＞投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

＜投資信託の費用について＞投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。【直接ご負担いただく費用】・購入時: 購入時手数料: 上限3.85%(税込3.50%)・換金時: 信託財産留保額: 上限0.3%、【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】・運用管理費用(信託報酬): 上限約2.3065%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただけます。※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると判断される情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されており、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料で使用している指数等に係る知的所有権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2021. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。